

まちづくり交付金 フォローアップ報告書

中心市街地再生計画地区

平成23年5月

岡山県津山市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	来街者数	人/3日	38,116	40,000	18,467	確定 ○ 見込み	×	あり なし ○		H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	中心市街地の人口減少や郊外の大規模集客施設の進出等の影響が大きい
指標2	観光客数	人/年	40,643	43,000	51,940	確定 ○ 見込み	○	あり なし	51,749	H23年5月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	新洋学資料館がH22.3.19開館予定で、フォローアップはH23.5の予定。数値目標は達成の見込み。された。
指標3	広域文化交流拠点施設利用者数	人/年度	508,301	534,000	617,444	確定 ○ 見込み	○	あり なし	618,778	H23年5月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	H21年度実績数値で判断予定のため、フォローアップはH23.5の予定。中心市街地の空洞化の中で、利用者の目標達成がなされた。
指標4	災害時避難施設の屋内収容可能人数	人	510	1,500	1,533	確定 ○ 見込み	○	あり なし	—	H 年月	—	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	密集市街地部における防災機能の強化が図れた
指標5	津山警察署・津山消防署から中心市街地までの到着時間	分	18	13	10	確定 ○ 見込み	○	あり なし	11	H21年6月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	道路の供給により、中心部の混雑緩和及びアクセス改善ができた。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	アルネ津山の駐車場利用台数を集計	台/年	645,593	/	703,374	確定 ○ 見込み	/	/	654,982	H23年5月	/	郊外の大規模集客施設の進出等の影響が大きい <input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	H21年度実績数値で判断予定のため、フォローアップはH22.5の予定。中心市街地の空洞化の中で従前値を維持できている。
その他の数値指標2			/	/	/	確定 ○ 見込み	/	/	/	H 年月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3			/	/	/	確定 ○ 見込み	/	/	/	H 年月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)	実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項	
・成果を持続させるために 行う方策	広域交流の持続・拡大	津山圏域の子どもを対象とした「夏休みこどもまつり」の開催(H21) 地ビールフェスタの開催(H21 7, 8月) 圏域の特産品をの販売やイベント等を実施した「作州ととく市」の開催(H21 11月) 経済産業省の支援を受け、アルネ・津山にある音楽文化ホール「ベルフォーレ・津山」と連携したイベントの実施(H21)	左記イベント等により、約89,000人(H22.1現在)の来場者があり、広域的交流に一定の効果が出ている。	今後も引き続きこうしたイベントを継続していくことにより、地域交流センターや広場等を広く周知し、同施設の利用率の向上を図る。
	歴史・文化遺産を活かした観光振興	観光、歴史文化拠点として洋学資料館の周辺の無電柱化を実施(H21) 道路高質空間事業(カラー舗装)を実施(H21～) 城下町の町名の由来等を記した案内板の設置(H21～) 洋学資料館開館記念講演会(木骨と解体新書)の開催(H22.1.31)	地域住民の歴史的景観に対する関心が高まり、修景事業2件の実施があった(H21)	歴史的町並みが良く残る城東地区などでは、火災や老朽化等様々な原因により、空地や青空駐車場が発生し、町並みの連続性を欠いたり、建造物に対する十分な維持管理が行われず老朽化や損傷が著しく、本来の歴史的価値が損なわれた建造物が存在しており、今後の歴史的町並みの保全が課題になってくる。 洋学資料館を中心とした観光振興策。
	地域防災機能の強化	アルネ津山(災害拠点施設)で防災展を実施し、防災意識の向上、防災拠点としての周知を図る(H21) 市の防災訓練で災害拠点としての役割、機能等の意識付やハザードマップによる周知(H21)	地域住民等に一定の周知が図れた	引き続き、防災展やハザードマップで防災意識の向上や災害拠点の役割、機能等の周知を図る。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	中心市街地のにぎわい再生	空き店舗対策事業による、新規出店者の周辺商店街への誘導策、及び地元大学や事業者等と連携したイベントの実施等により、アルネ・津山の集客を周辺商店街へ波及させるための施策や企画を実施	空き店舗対策事業により、4店舗誘致(H21) 地元大学等と連携したイベントを実施することにより、大学生等の若い世代と商店街との交流が促進(H21) 公共交通の総合的な見直し(H21)	今後も引き続き、左記事業を継続していくとともに、 左記掲載事業を含む平成22,23年度に策定を予定している中の認定を目指している中心市街地活性化基本計画の枠組みの中で、中心市街地のにぎわい創出に資する事業を整理の見直しと整理を図り、実施していく。 地域公共交通総合連携計画を策定(H21)し、H22から事業実施中を行う。
	歴史遺産の保存・活用	観光客が周遊できる環境の整備として地図情報板を設置(H21～) 歴史遺産の残る城東地区で町並み保存事業を実施(H21～) 津山城跡の景観を阻害する建造物、樹木の撤去(H21～)	観光施設の周遊性が高まる環境整備が整った津山城跡等歴史的景観の維持向上を図ることができた	歴史遺産の更なる活用の中で、歴史的町並みが良く残る城東地区などでは、火災や老朽化等様々な原因により、空地や青空駐車場が発生し、町並みの連続性を欠いたり、建造物に対する十分な維持管理が行われず老朽化や損傷が著しく、本来の歴史的価値が損なわれた建造物が存在しており、今後の歴史的町並みのいっそうの保全が課題になってくる。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項